

看護 しずおか



KANGO SHIZUOKA

Vol.3
平成22年度

会員数…………… 17,601名
保健師…………… 531名
助産師…………… 684名
看護師…………… 15,236名
准看護師…………… 1,150名
(平成22年8月24日現在)

平成22年度 静岡県・伊東市総合防災訓練
シリーズ その3 職能の活動と課題



看護師による一次トリアージ訓練の様子



社団法人 静岡県看護協会



ホームページ
<http://www.shizuoka-na.jp/>

静岡県看護協会

検索

社会問題への目と関心を育てる

会 長 佐藤 登美

会員の皆さま、こんにちは。

今年も連日の猛暑です。あちこちで、38度以上になったと報道されていますが、お元気でしょうか。この暑さですから、元気な者でも健康管理が必要です。むろん、高齢者や持病のある者なら、なおのこと充分な目配りや配慮が大事です。

ところで最近、この暑さのなかで、底冷えするようなことが報じられています。まず、自宅に在りながら死んでから30年間も放置されていた高齢者(推定115歳)の例(東京都)です。しかも、どうやら家人は本人に支給される年金などを受け取っていたらしい、ということです。これにはもう、びっくりでした。このニュースがきっかけかどうか、厚労省は早速に、100歳以上の高齢者130人以上(8月17日現在)が所在不明であることを公にしました。どんな理由で、こうした事態が生じているのかは明らかにされていませんが、高齢者が社会からないがしろにされている印象が拭えません。少なくとも、こういう事態を同じ社会に住む私たちが知らずにいたことが、問題です。

日本の場合、医療制度や介護保険制度が整備され、疾病や障害をもつ高齢者が放置されることは、制度的にはあり得ない筈ですが、実は先のような事態が防げないで生じているのです。それに今後は、後期高齢者が急増してきます。認知症も増えます。そこで、放置され、所在不明の老人がますます増えてくるかも知れません。私たちは、こういう事態を、どのように考えたらよいか。たとえば、制度があっても、なぜこうしたことが生じてしまうのか。果たして、看護職はこうした状況への対応について、組織としての考えを持っているのかどうか。あるいは、それを、対外的に提言(公表)してきたのかどうか。問われるところだと思います。

さてご存じのように、静岡県看護協会は現在、新公益法人化という作業を進めています。この進捗は、ニュースやホームページでその都度お知らせしておりますが、公益法人をめざすのであれば、これまでに以上に、社会は私たち看護職に何を求めているのか、ということに敏感でなければならないと考えています。前号で、地球環境の温暖化のことや少子高齢化関連の問題、あるいは人々の健康や命への価値観が動揺的になっている、といった状況について触れましたが、現在の社会は、問題だらけです。そのうち、私たち看護の仕事と関連する“問題”も少なくありません。たとえば、30年も在宅で放置されていた高齢者の問題は、看護職として、あるいは職能的集団(組織)として、全くの無関心であってよいかどうか、考えてみなければならないように思いますが、会員の皆さまは如何ですか。分業的な仕事に慣れてきた私たちには、こういう問いかけは馴染みがないかも知れませんが…。

新公益法人化を為し、看護協会が積極的に地区支部活動を展開していく上で、地域社会の住民の生活(暮らし方)に関する知識や情報はことさら重要です。特に、地域にある健康問題は活動の主題になるところですから、私たちの関心をそこへ向けていくことが必要です。それは、公益化を進める中で、私たち看護職や協会の“目”を社会に向けて、広角的にしっかり照準化していくことに他なりません。

そういう意味で、100歳以上の高齢者の所在不明であるという事実は、決して見過ごしていけない問題ですし、たとえば、「この所在不明の高齢者問題は、今従事している看護という仕事とどのような関係があるのか」というふうに、関連づけて見ていく“目”を育てること、それがまず重要だと思っています。

平成22年8月17日 記

平成22年度 静岡県・伊東市総合防災訓練



9月1日に、静岡県伊東市で総合防災訓練がおこなわれました。「うみエリア」「そらエリア」「拠点エリア」「共助エリア」「救援エリア」と5つのエリアに分かれ、熱海・伊東地区支部の方々が、それぞれの場所で活躍していました。



高校生のトリアージ、メイクもしました♪
(東部地区支部の会員も参加しました)



地震により、多発事故発生!!
すべての負傷者は一次トリアージに搬入です。



「救援エリア」では、熱海・伊東地区支部は「一次トリアージ」と軽症者の救助の担当でした。



手早く負傷者をトリアージ!

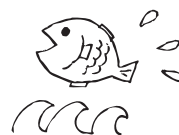


軽症者を三角巾で手当てします。

私が取材したエリアは「救援エリア」。行われた場所が小学校のグラウンドということもあり、多くの小学生が目をは輝かせて見学していました。その目線の先には「看護協会」の白いベストをはおった、熱海・伊東地区支部のみなさん。訓練に参加した多機関とともに取り組んでいる姿は今回の防災訓練のテーマ「連携」を表しているようで、見ていてとても心強く感じました! 広報委員 勝又



伊東市

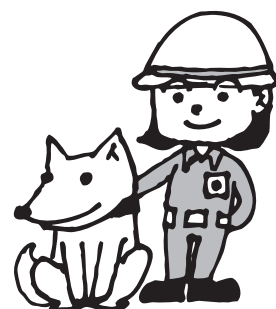


～訓練に参加して～

市立伊東市民病院 看護部長 馬場 貞子

当院も地域の中核病院として、午前中の一般外来を休診とし、全職員あがって訓練に参加しました。病院には、42人直接来院した負傷者と各救護所から12人の負傷者を受け入れ、トリアージ訓練、救護した重症患者を陸路や空路で広域搬送をする本番さながらの訓練を行いました。

災害時における院内のチームワークはもとより、他の救護チーム(DMAT)や地域住民との連携、コミュニケーション、情報の共有と活用という事がいかに重要であるか体験できました。



シリーズ 職能の活動と課題 その3

今回「職能委員会の活動紹介」では紹介しきれない取り組みと課題について具体的に紹介させていただきます。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 濱松 加寸子



周産期現場の実情と問題

今回、「助産師の抱える問題」について委員会で意見交換を行なった。1名を除く8名が、いわゆる総合病院に勤務する助産師で、そのほとんどが「地域周産期母子医療センター」「産科救急受入医療機関」の周産期医療体制を担っている。結果、共通していたことは、分娩数が増加しても、スタッフの増員はなく、いつ医療事故が起きてもおかしくない状況の中で仕事をしているということである。

現在、全国的に産科医が不足し、分娩を取り扱わない医療機関が増加し、県内でも同様の傾向である。1996(平成8)年では116の医療機関が分娩を取り扱っていたが、2005(平成17)年になると71と2/3に減少し、今もなお進行している。その結果、分娩の集約化が起これ、医療施設静態調査(毎年9月に調査)によると、病医院1施設での分娩件数の平均も61.1件から65.7件と増加し、また、帝王切開術件数も8.3件から13.2件に増加している。

委員が勤務する病院では分娩件数が約1.5倍に増加している。近隣病院が産科医の撤退により、分娩数を制限した影響をそのまま受けている。分娩件数が増えればハイリスク分娩も増加し、それに伴い緊急帝王切開分娩も増加する。必然的にNICU収容児も増加する。また、現在多くの出産施設では自然出産傾向にある。1970年代後半から多用された陣痛促進剤の弊害や、分娩時のケアが画一的・機械的であると、病院での出産が「非人間」的な出産と批判を受けた反省から、正常経過にある産婦への陣痛促進剤使用はきわめて慎重になっている。その結果、「夜間での分娩が60～70%を占めている」。しかし、夜間勤務者は2～3名と日勤者と比べると格段に少ない。



助産師がひとりの時に、分娩予定者3・4名の経過を看っていて、同時産になる可能性、緊急帝王切開分娩やハイリスク妊婦が急激に分娩進行した場合等は、優先度を瞬時に決定し「何とかやりこなすというのが現状」である。彼女は、「まさに綱渡りという言葉がぴったり」と言い、「無事勤務をやり終えた時、一定の達成感があり、またそれが『一人前の助産師』という見方も暗黙のうちに」とも述べている。

長時間の勤務中、常に気を張りつめ全力疾走している。産科領域では、予想できない異常が突発的に発生することが特徴といわれる。これ以上の事象

が生じれば大事故に繋がる状況の中で仕事をしている。久しく臨床を離れ、教育現場に身を置く私は、変なたとえではあるが、助産師が「伸び切ったゴム」のように疲れきり、一人ひとりに叱咤激励しても、現状維持が精一杯で、新しい事業への取組み等を期待することは厳しいと感じた。また、中堅以上のベテランであればまだよいが、現時点で、より高度な観察力や判断力を身につけようとしている段階の若手助産師の場合、相談する先輩助産師はおらず、恐怖にも近い緊張感の中で業務に就いていることが容易に推察できる。これがまた離職につながっていくのではないだろうか。



以上が病院で働く助産師の実情である。助産師の人数や分娩件数、産科・産婦人科・混合病棟などの条件によって多少異なるが、大方間違っていないと思われる。

すでに個々の自助努力で解決できるレベルではなく、病院組織あるいは職能として取り組み改善していくこと、そして政策提言できる力が求められる。そのためには、一人ひとりの会員の声を吸い上げていきたいし、意見交換の場としての「職能集会」に、ひとりでも多くの助産師に参加していただきたい。

今年度の委員会活動として、県内助産師活動の実態を把握し、改善策の糸口を見出そうとしている。また、8月28日には、ニーズの高かった超音波断層法による、助産師の助産診断技術の向上をめざした研修会(写真参照)を開催した。現場の声を反映した委員会活動の重要性を改めて認識している。



楽しい子育て・子育てを
推進する会イメージキャラクター
『ミワ』ちゃん

看護協会役員等立候補者の届出(募集)について

静岡県看護協会では、平成23年度の役員並びに職能委員を募集します。

平成22年度末で任期満了による
改選対象の役員・委員

会 長	1 名
副会長	1 名
常務理事	1 名
保健師職能理事	1 名
助産師職能理事	1 名
看護師職能理事	1 名
監 事	2 名

立候補の方法

役員又は職能委員、若しくは推薦委員に立候補しようとする者は、会員5人以上の推薦を受けて届け出なければならない。(細則第12条より)

届出方法

立候補届に記入の上、
下記宛て先へ郵送してください。
※用紙は、静岡県看護協会ホームページ
【お知らせ】情報からダウンロードできます。

宛 先

〒422-8067
静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会 推薦委員会

締切日

平成22年10月20日

平成22年度「医療安全管理者養成研修」を開催して

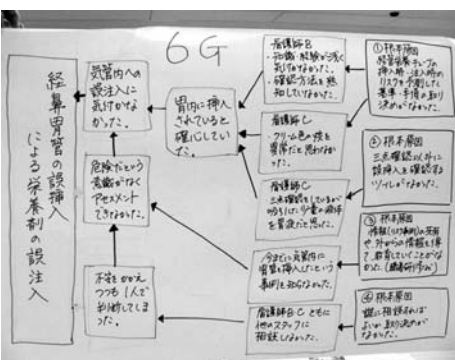
7月22・23日 8月3・4・5日の5日間に亘り、組織的役割遂行能力育成の領域として、「医療安全管理者養成研修」を開催しました。

この研修は、医療安全対策加算の施設基準の1つに該当し、教育委員会での企画実施が4年目となります。今回の受講生は40歳代を中心とする68名であり、それぞれの施設における医療安全に関わる役割をもつ人が殆どでした。

本研修の目的は、「医療安全管理者として必要な基礎的知識・技術・態度を学び、各施設における医療安全管理者としての役割・業務を理解し、医療安全の推進を図る」ことです。



この分野における国内屈指の講師陣(日看協出版会賠償責任保険制度サービス推進室の平林明美先生、中京大学大学院の稲葉一人教授、九州大学大学院の鮎澤純子教授)をはじめ、県内で先駆的活躍をされています富士宮市立病院の土橋泰子副看護部長、藤枝市立総合病院医療安全対策室の丸林せつ子前室長による充実した研修となりました。5人のパワフルな講師に触発されつつ、受講生の学



習エネルギーとの総和で、医療安全に関する受講生の事前課題の解決への方向付けがなされていきました。

今年の研修における新たな取組みは、総論に始まる3日間の学習後に、医療安全管理者として県内で活躍中の講師とコーディネーター10名のご指導による事故分析の演習を行ったことです。併せて、最終日には講師からの医療安全活動の進め方や体験を通じての示唆に富む事例紹介もあり、グルー

プワークによる学びやネットワークを通じて、今後の役割行動に結び付けられたようでした。

研修後のアンケートでは、受講生の95%が「研修に満足した」「目的を達成できた」と答え、97%の人が「今後に活用できる」としています。

今回の受講生全員に「医療安全管理者養成研修」受講証明書が交付されています。5日間の研修を通して得た一人ひとりの学びとヒューマンネットワークを活かし、それぞれの施設内・地域の中で、医療安全管理者として大いに活躍されますよう期待しています。



(文責 教育委員 達家 好美)

ナースセンターだより

平成21年度静岡県内病院に勤務する看護職員の退職状況調査結果が出ました。

配布数:185病院 回答数:129病院 回収率:69.7% (*お忙しいところご協力ありがとうございました。)

看護職員総数	正 規	非正規	計	H20年看護職員等業務従事届 (静岡県内病院勤務の看護職員数)
H21年4月1日	16,101	2,308	18,409	20,051
H22年3月31日	15,748	2,437	18,185	

年度内入・退職者数	入職者数		退職者数	
	H20(回答数102)	H21(回答数129)	H20(回答数102)	H21(回答数129)
新卒者	836	953	62	76
既卒者(1年以内の退職)	912	1,052	1,304(135)	1,571(150)
合 計	1,748	2,005	1,366	1,647

看護職員離職率	常勤看護職員		うち入職1年以内看護職員				早期離職	
			新 卒		既 卒			
	H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21
	11.3%	11.5%	7.4%	8.0%	14.8%	14.3%	14.4%	13.7%

退職理由

既卒者 **1位** 他の職場への興味 **2位** 結婚(転居) **3位** 健康上の問題(精神) **4位** 健康上の問題(身体)
 新卒者 **1位** 健康上の問題(精神)・適正や能力への不安 **3位** 健康上の問題(身体) **4位** 他の職場への興味

平成21年度離職防止対策で特に効果のあったもの

1位 多様な勤務形態の導入 **2位** 子育て支援策の充実 **3位** 教育研修体制の充実 が抜きんでいます。

※離職防止対策の取り組み等詳細は別途県内病院施設の看護代表者あて報告

※参考:ナースセンター実施の平成21年度新人看護職員研修受講者131人(実人数)の1年以内の離職率は3.1%

最近気になっています

職場や学校の悩みごと相談は⇒054-202-1780

6月から新卒看護職員の相談が増え、8月末までに10人の相談がありました。すでに退職してしまった人もいます。新卒看護師は悩み(職場内の人間関係や適性・能力の不安)を相談(相談体制があっても)できず抱え込んでしまい、職場内で孤立し、そこから抜け出られないようです。本人から相談に来るのを待つのではなく、先輩や上司から声をかけていくと相談しやすくなるのではないのでしょうか。日々の行動や表情などで、ちょっと気になるなと思ったら、ぜひ声をかけていただきたいと思います。

10月以降の研修

再就業準備講習会	10月13日(水)～15日(金) 11月 8日(月)～10日(水) 11月17日(水)～19日(金) 12月 1日(水)～ 3日(金) 平成23年 2月2日(水)～4日(金)	富士宮市立病院会場 静岡市立静岡病院会場 掛川市立総合病院会場 国際医療福祉大学熱海病院会場 静岡県看護協会会館会場
セカンドキャリアセミナー	11月25日(木)～26日(金)	静岡県看護協会会館
中間管理者研修 (働きやすい職場作りのために)	平成23年 1月頃予定	

報告 看護学校等進路説明・相談会

6月12日・19日・26日の3日間 東部・中部・西部で実施しました。

参加総数 1,288人(H21年1,124人) 高校生765人(691人) 社会人152人(97人) 保護者・教師371人(336人) ※(H21年)

リーマンショック以降、将来の職業の選択肢に看護職をという傾向があります。高校生1日ナースも希望者が多く、担当が調整に苦慮していました。うれしい悲鳴です。看護職の卵が増えるといいですね。

静岡県ナースセンター

【本所】TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

【東部支所】TEL/FAX 055-920-2088 【西部支所】TEL/FAX 053-454-4335

訪問看護師
養成講習会
運営委員会

訪問看護師養成講習会 「在宅での栄養指導」「ME機器の管理」

日時(日程) 11月13日(土)9:30～16:30
場 所 看護協会 第1研修室
内 容 講義と実技 **対 象** 看護職 聴講生 25名
受 講 料 会員 4,000円 会員外 6,000円
募集期間 9月30日必着
申し込み先 看護協会 事業部
応募方法 往復葉書に ①研修会名 ②開催日 ③氏名 ④職種
⑤優先順位 ⑥連絡先 を記入し、申し込んでください。

看護師
職能委員会

准看護師進学支援相談窓口

日時(日程) 9月28日(火)11:00～14:00
10月15日(金)11:00～14:00
場 所 看護協会
内 容 学校紹介、必要経費及び学習方法など
対 象 通信制2年課程に進もうとしている准看護師
相 談 料 無料
そ の 他 当日、電話による相談も受け付けます。
詳細は協会ホームページで。

平成23年春の運用にむけて

静岡県看護協会ホームページ
<http://www.shizuoka-na.jp/>
研修会等参加申込システムを構築中!!

静岡県看護協会では、研修申込の利便性を高めるために
ホームページの機能アップに取り組んでいます。
なお、受講料の支払方法についても検討中ですので、
詳細が決定次第ご案内予定です。(教育研修部)

医療・安全情報 第③弾

皆様 こんにちは 社会経済福祉委員会です。

社会経済福祉委員会では、会員の社会福祉経済の向上を目的とし看護職の離職防止・マンパワー確保や医療安全に取り組む事を活動目標としています。昨年度は、医療・安全情報をテーマにKYTの写真を掲載しました。みなさん覚えていませんか？今年度は、昨年度に引き続き、シリーズとして、医療安全の分析方法・安全に関するものを、連載していきたいと思いをします。

■去る7月4日(土)に、安井はるみ先生(四谷メディカルキューブ看護部長)を 講師にお迎えし、『組織で取り組むKYT』をテーマに講演、グループワークを行いました。

参加人数75名、応募者多数のため各施設から2名の参加枠しかなく、ご迷惑おかけしましたが、実りある研修になり、大変盛り上がりしました。

インシデントが発生したとき、組織・チームでなぜなぜと原因を掘り下げ、分析してからレポートにするプロセスが重要。私たちが今、ルーチンワークとしてやっていることが、必ずしもやらなければならないことなのか、見直すことが必要。などのご教授をいただきました。

みなさんも現場でKYTを取り入れてみてはいかがでしょうか？

インシデントレポートKYT (KYTの方法を用いた分析)

KYT基礎4ラウンド法

段 階	目 標	内 容
第1ラウンド	現状把握	「どんな危険が潜んでいるか」
第2ラウンド	本質追究	「危険のポイント」
第3ラウンド	対策樹立	「あなたならどうする」「私ならこうする」
第4ラウンド	目標設定	「私たちはこうする」



ご支援ありがとうございます

・賛助会員…14(法人・団体)

医療法人社団千鳥会 御殿場かいせい病院・東洋羽毛東海販売(株) 静岡営業所・(株)静岡新聞社・静岡放送(株)・(株)ガリバー静岡店
医療法人社団駿甲会 コミュニティア高草・(株)京都科学 東京支店・医療法人社団駿甲会 コミュニティア吉田・SMC商事(株) 名古屋支店
財団法人 静岡健康管理センター・ナーシングホーム あしたば・(株)トータル保険サービス 横浜支社・公立森町病院・協和医科器械(株)

・賛助会員…2(個人)